

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度 第3回 特別養護老人ホームこころの樹 運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和元年 8 月 6 日（火曜日）
開会 午後 2 時～ 閉会 午後 2 時 59 分
2. 場 所 特別養護老人ホームこころの樹
3. 出席者 中里 英夫（入居者代表）
阿部 敏雅（入居者家族代表）
佐藤 稲子（地域住民の代表者）
石崎 可奈子（市役所職員）
田中 京子（地域包括支援センター職員）

特別養護老人ホームこころの樹
杉船由紀枝施設長 星幸子生活相談員

社会福祉協議会
遠藤常務 曾根課長

欠席者 ー

1. 開 会

2. あいさつ （遠藤常務）

3. 協 議 （要旨）

①近況報告（杉船施設長・星相談員）

- ・ 入居者 28 名。内、入院中 1 名。
- ・ 7/1、入居者の M 様が入院先で死去。体調を崩す方が多く、6 月 2 名、7 月 1 名の入院。
- ・ 退院後、口からの食事摂取が難しくなり、ご家族や嘱託医の判断で看取りとなった方がいる。
- ・ 7 月より新規入居 1 名、92 歳男性。慶ユニットへ。
- ・ ショート稼働率は 6 月 88.9%、7 月 103.3%。新規利用者は 6 月なし、

7月3名。7月は空床利用があり稼働率が100%を超えた。

- ・ 行事については資料のとおり。6/19の傾聴の会プチサロンは月2回開催。ハーモニカ演奏披露なども行っている。7/14、みなと祭り花火大会は天候や身体状況を鑑みて、多くが部屋からの鑑賞となった。
- ・ 6月に採用された介護経験のある職員が体調不良のため退職となってしまった。
- ・ 夕食時に人手が足りず、他事業所職員が見守りの支援に入っている。

②夏祭りの報告（杉船施設長）

（杉船施設長）

言葉で伝えるのは難しいので写真をまとめた報告書を配布したので参照していただきたい。入居者28名、ショート利用者9名、家族22名、ボランティア14名、居宅介護支援事業所職員5名が参加。本部職員も準備段階から手伝ってもらった。管理栄養士やレクリエーション委員会が中心となり企画。食事が豊富にあり、デザートまで食べられなかった。

（資料の写真を説明した）

（杉船施設長）

遠藤常務には「さそり座の女」を歌って盛り上げていただいた。

（中里委員）

去年は、沢田研二だったか？

（星相談員）

西城秀樹だ。

（中里委員）

これまであった職員の尻相撲や仮装がなくて残念だったが、忙しいので仕方がない。

（杉船施設長）

今年も実施の案は出ていたが、時間が足りず中止となった。

（中里委員）

以前あった中庭での流し素麺も良かった。また、玄関先で焼き鳥を焼

いたこともあった。

(杉船施設長)

入居者の身体状況が悪くなっており、外に出るのが難しくなっている。また、介助にスタッフが取られて、安全の確保ができない。そのような状況で楽しんでいただけるような内容を担当が企画している。今年の反省点を来年に活かしたい。

(中里委員)

外でやることは近隣へのアピールになる。子どもが集まってくるかもしれない。

(杉船施設長)

確かに入りやすくなるかもしれない。参考にする。また、以前はボウリングやくじ引き、水ヨーヨーもあった。

(阿部委員)

中里委員が過去の企画を覚えているのはすごいこと。それだけ印象が強い企画だったのだろう。食べ物のチョイスも難しいのではなかったか？食べられる人が少ない。最後のよしこの塩釜は盛り上がる。

(杉船施設長)

去年はよしこの塩釜は1回のみ。今年は2回とした。

(星相談員)

曲が長く、体力的に1回としてみたが、「もっと踊りたかった」との声があり反映させた。また、去年は中里委員から「輪が小さかった」との意見があり、今年は大きめの輪になるよう工夫した。

(杉船施設長)

また、今年は企画と企画の間の会場設営の時間に入居者のカラオケを入れてみた。手探りで作り上げた夏祭りだった。

③ 内部研修報告（星相談員）

(星相談員)

6/18、内部職員研修を行った。毎月第三火曜日に実施している。今回は講師にヘルシーフード株式会社より佐々木様を講師に迎えた。入居者のレベル低下が見られる中、食事のトロミの付け方を学んだ。研修後、参加者に感想のアンケートを取ることとしているが、「身近な問題

なので参考になった」との意見が多かった。また、伝達研修も行い、管理栄養士が嚙下について外部研修で学んだことを職員へ伝えた。7/16は「ノーリフティングケアについて」と題して研修を行った。講師は株式会社アカネ福祉の浅沼様。腰痛予防の観点から介護用リフトを実際に持ち込んでもらい体験した。最近の傾向として高齢者の身体が大きくなっているし、職員も高齢化している。最初の印象は「怖そう」だったが、操作も簡単で安定感があり怖い思いはなかった。アンケートでは「リフトの導入で職員、入居者共に不安なく移動できるのではないか」「サイズが大きいのではないか」との意見があった。また、同日に看取りの研修も行った。

(杉船施設長)

ユニットサブリーダーが中心となり企画している。身近な課題の研修となるので役に立っている。次回は、避難訓練を行う。

(中里委員)

先日、震度4の地震があった。もし夜間で津波警報が出された場合、職員が少なく避難に不安がある。

(星相談員)

地震があった日は、深夜にも関わらず本部職員が4名集まった。津波の心配がないということで解散となった。応援連絡体制は取れている。

(曾根課長)

先日も10～20分で本部職員が集まった。ただ、例えば大津波警報が出るような災害であれば、本当に集まれるのかどうかは分からない。集まらない場合に備え、次回の避難訓練を行う。

(中里委員)

何年前か前、実際に津波注意報が出て2階に避難した。そのような場合も職員は自身や家族を守らなくてはならない。

(星相談員)

入居者に安心して過ごしてもらえるよう、避難訓練を適切に行いたい。

(杉船施設長)

夜勤をする職員も不安である。避難訓練を行い、責任を持って行動できるようにしたい。また、近所の方も避難してくるかもしれない。とりあえず、1階の入居者を2階に上げる。その後の状況で全員3階に上がるように計画している。

(石崎委員)

夏祭りの様子が写真で見られ、とても楽しそうにできて良かった。風船バレーは、地域のサロンでも安全に行えるレクとしてやってみたいと思った。食事の取れない方の報告があったが、理由は何か？

(杉船施設長)

良く分かっていない。精神的なものではないかと医療につなげたところ。認知症はある。食べる時食べない時がある。対応なのか、声かけなのか、味覚障害なのか、気持ちの問題なのか、原因が分からない。

(星相談員)

認知症なのか、身体的なものなのか、医療も2ヵ所あたっている。意思をはっきり伝えられる方なのでケアの仕方を変えれば…との思いもある。

(杉船施設長)

食べないと体力が低下するので、家族に相談し早急に対応した。

4. 事務連絡 次回は10月8日(火)14:00から

5. 閉 会